



ゆめほ。

くまの



令和8年
4月

店舗の入り口には
図書室を設置

TULLY'S
COFFEE
タリーズコーヒー
山口大学
医学部附属病院店
26年4月3日オープン

タリーズコーヒーOPEN

山口大学病院募金に寄せられたご寄附を出店費用の一部として活用し、本院B棟2階に「TULLY'S COFFEE」がオープンしました。病院内の店舗としては国内100店舗目の記念すべき節目に誕生した同店は、窓際のカウンター席をはじめソファ席やテーブル席があり、スペースを区切ったミーティングルーム、職員専用ルームも備えています。席数は全82席（店内60席、職員専用ルーム内22席）で、コーヒー豆をあしらったアーティスティックな壁面が印象的です。車いすの方が利用しやすいよう、レジカウンターにくぼみを設けたり、カウンターの椅子に杖を立てかけられるようにしたりなど、さまざまな工夫が見られる店内で、かぐわしいコーヒーの香りに包まれながらゆったりと過ごせます。

店舗の正面入り口には、京都に本店を置く「大垣書店」が監修した図書室を新設。扱う書籍2000冊の中には、山口大学経済

学部の学生が選書した「りぶれいく」の書籍200冊もあります。誰でも店内でゆっくり読書を楽しむことができ、入院患者さんは本を借りることも可能です。

カフェメニューでは自慢のコーヒーをはじめ、サンドイッチやパンケーキ、パスタなどの軽食、アップルパイやドーナツなどのスイーツもそろっています。山口県の店舗では初のモバイルオーダーも導入していますので、ぜひご利用ください。



コーヒーに合う
フード類が充実

DATA
電話：0836-38-7363
営業時間：月～金曜 8:00～18:00
土曜 12:00～17:00
定休日：日曜、祝日
モバイルオーダーは
こちらから→



一人でも利用しやすいカウンター席



肘置部分に杖を立てかけられる工夫も



**理美容室
My Hair Coming a**
●B棟2階
電話：0836-22-2920
営業時間：
月～金曜の9:00～17:00
定休日：土・日曜、祝日

西日本クリーニング
●B棟2階
電話：0836-35-7073
営業時間：
月～金曜の9:00～18:00
(土曜は～15:00)
定休日：日曜

タリーズコーヒーの近くにクリーニング店とヘアサロンの近況があります



弁当販売コーナー
●C棟1階
営業時間：
月～金曜の10:30～14:00
定休日：土・日曜、祝日

ローソンス
●B棟2階
営業時間：
月～金曜の8:30～18:00
(土・日曜、祝日は～15:00)
定休日：無休

●C棟1階
営業時間：
月～金曜の8:00～16:00
定休日：土・日曜、祝日

令和8年4月、本院B棟2階とC棟（外来診療棟）1階にそれぞれローソンスがオープンしました。従来から営業しているA棟1階のローソンスと合わせ各棟にコンビニエンスストアが整備されたことで、患者さんをはじめ来院された方に、より便利に買い物を楽しんでいただけるようになりました。ただけるようになりました。B棟2階には理美容室やクリーニング店も移転オープンし、C棟1階には弁当販売コーナーも誕生しています。どうぞご利用ください。

ローソンス2店舗
新規オープン
理美容室&クリーニング店
移転オープン



JSTCT2025 若手優秀研究賞 HCT Contribution Award 2025

このたび本院の能野翔太医師と、造血細胞移植コーディネーターの清水和子看護師の2名が、第48回日本造血・免疫細胞療法学会において表彰されました。

●JSTCT2025若手優秀研究賞
能野 翔太 (第三内科)

●HCT Contribution Award 2025
清水 和子 (造血細胞移植コーディネーター／看護師)



能野医師は、『Scientific Reports』に掲載された論文「Significance of kidney and spleen volumes analyzed via three-dimensional computed tomography prior to allogeneic stem cell transplantation (同種造血幹細胞移植前における3次元CTを用いて解析した腎臓及び脾臓容積の意義)」が、優秀な研究であると評価されました。本研究では、これまで不明だった同種造血幹細胞移植前の臓器（腎臓、脾臓、

肝臓）の容積と移植後の生存率や移植後合併症との関連性を、3次元コンピュータ断層撮影（3D-CT）を用いて移植前の臓器の容積を測定し、評価しました。その結果、移植前の大きな腎臓と小さな脾臓はそれぞれ予後不良の指標になることを初めて明らかにしました。同種移植前に3D-CTを用いて腎臓・脾臓の容積を測定することは、移植後のリスク予測に有用である可能性があり、さらなる検証が期待されます。

清水看護師は、骨髄バンクドナーコーディネートの経験を活かし、本院で看護師として勤務するかたわら造血細胞移植コーディネーター（HCTC）として、地域の造血幹細胞移植医療に長く貢献した点が評価されました。

※同種造血幹細胞移植:健康なドナー(他人)から提供された造血幹細胞(血液の種)を血液疾患がある患者さんに移植し、血液のシステムを入れ替える治療法

就任の
ごあいさつ



山口大学大学院医学系研究科長
山口大学医学部長・山口大学医学部医学科長
眼科学講座教授

木村 和博

令和8年4月1日より、山口大学大学院医学系研究科長および医学部長、医学科長に就任しました。木村和博（きむらかずひろ）と申します。
「医学はいつの時代も、患者への問いから始まる」と私はそう考えています。病を克服したいという人類の切実な願いが医学を発展させてきたように、医療者もまた、目の前の患者さんへの誠実な向き合いを原点に、自らを磨き続けなければなりません。本学医学部が長年にわたって大切にしてきたのも、まさにその精神です。

今、医学は新たな転換点を迎えています。近年の最も大きな変化のひとつは、AIとデータサイエンスが医学・医療の根幹に組み込まれつつあることです。本学はいち早くこの流れを見据え、全国の医学部に先駆けてシステムバイオインフォマティクス講座を設立、続いてAIシステム医学医療研究教育センター（AISMEC）を創設しました。医療ビッグデータを駆使した疾患の予測・予防・治療法の開発は、すでに具体的な成果を生み始めています。
さらに本学は、細胞デザイン医科学研究所を立ち上げました。細胞そのものを「設計する」という発想のもと、

再生医療・創薬・難治性疾患の克服に向けた基礎から臨床への橋渡し研究を推進しています。AIによるビッグデータ解析と、細胞レベルの精緻な生命科学的研究——この二つの柱が融合することで、本学の研究は新たな高みを目指します。

教育においても、本学は独自の歩みを続けています。医学科の「自己開発コース」では、学生が自らの意志で研究室を選び、全国最長水準の5か月間わたって本格的な研究に没頭します。その舞台は学内にとどまらず、10か国・20拠点以上の海外研究機関にも広がっています。

保健学科では、アジア太平洋地域の大学と連携したPAHL (Asia-Pacific Alliance of Health Leaders) を通じ、看護・健康科学の国際的リーダーを育成しています。創刊から20年を超えるわが国の国際誌『Nursing and Health Sciences』も、本学の国際発信力の象徴です。

目まぐるしく変化する社会の中で、医学部に期待される役割はこれまで以上に大きくなっています。医療格差、少子高齢化、新興感染症、そして薬剤耐性菌の脅威など、今日の医療が直面するこれらの課題に応えるためには、高い専門性とともに、社会全体を見渡す広い視野と強い使命感が求められます。本学医学部は、地域医療の担い手として、また国際社会に貢献する研究者として活躍できる人材の育成に、これからも全力で取り組んでまいります。
皆さんとともに、山口大学医学部の新たな章を刻んでいきたいと思えます。

「救急」とは、
応急手当 → 救急車搬送 → 病院での医療が、
流れるようなリレーで進むことで成功します。

現在、救急車を呼んでから到着するまでにかかる時間は、“約10分”といわれています。その間に私たち市民がする「応急手当」でその後の結果が変わってきます。大切なのは、いざという時に備えた「心構え」と、いざという時の「応急手当」です。

不慮の事故や身体の不慮など、不測の事態には119番で救急車を呼べば大丈夫と思う人は多いかもしれませんが、実はそうではありません。本日の救急とは救急車が到着したところから始まるのではなく、普段の心構えと救急車が到着するまでの行動、つまり「応急手当」から始まっています。
普段の心構えでは、自分の体についてよく知っておくことが大事です。健康診断を受ける、日常生活で気を付けることをかかりつけ医に確認しておくなど、普段から自分の体を気にかけておくことです。そして、もう一つ、いざという時にはどのような対応や治療を望むかということ、家族や周囲の人に普段から伝えておくことも大切です。

こんな時は迷わず119番!

- 意識がない(呼びかけても反応がない)
- 普段通りの呼吸でない
- 突然の激しい痛み(頭・胸・背中・おなか)
- けいれんが止まらない
- ろれつが回りにくい

上記以外の症状の場合は様子を確認し、救急車を呼ぶべきか迷った時には次の電話窓口にご相談できます。

- #7119 (救急医療電話相談)
- #8000 (小児救急医療電話相談)
- 全国版救急受診アプリ「Q助」

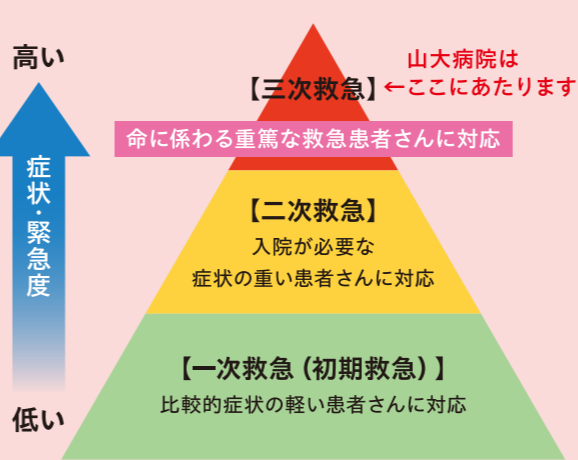
『救急』のことを もっと知ろう!



市民公開講座のテーマ

1. 「救急」って何? 「救急」は3つのパトン・リレー
2. 今なぜ「救急車の有料化」の話
3. 救急医療はなぜ逼迫するのか?
4. 三方よしの「救急」のために

宇部市の救急医療体制



(宇部市ホームページを参考に作成)

市民公開講座 2026

開催のお知らせ

第1回
『救急』のことをもっと知ろう!
～救急車到着までの“10分”でできること～

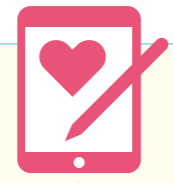
救急車到着までの“10分”の間にする「応急手当」で結果が変わります。
『救急』について賢く知り、「生活の知恵」を学びましょう!

日時：令和8年7月4日(土) 11:00～12:30
会場：山口大学医学部附属病院 A棟1階 オーディトリウム
※お車で越しの際は、患者立体駐車場をご利用ください。駐車券は会場にて無料処理いたします。
講師：先進救急医療センター長 鶴田 良介 教授
司会：FMきらら 岡崎 美恵
※後日放送予定
申込み・問合せ：広報戦略センター
TEL0836-85-3036(平日9:00～17:00)
申込締切：令和8年7月3日(金)



「知っちょる? 山大病院」市民公開講座 2026 年間の予定				
回	開催時期	開催場所	主なテーマ	担当科
2	9月12日(土)	山口市内(予定)	前立腺がん	泌尿器科
3	11月14日(土)	宇部市内(予定)	心臓病と腎臓病	循環器内科
4	12月5日(土)	A棟1階 オーディトリウム	治らない口内炎と 病気の関係	歯科口腔外科

※詳細はHP、SNS等で随時お知らせします。



お仕事紹介
看護部編⑧



伊藤 綾香さん

がん薬物療法看護認定看護師

本院の理念である「一人ひとりの健康と安心の探求と実現」を目指して活躍するメディカルスタッフを紹介いたします。

Q. がん薬物療法看護認定看護師の役割について教えてください。
がん治療の薬物療法では、病気の種類や状態に応じて使用できる抗がん剤が飛躍的に増え、治療法が複雑になってきました。治療の選択に悩む患者さん多いので、患者さんやご家族が大切にしていることや価値観を尊重した治療が行えるよう、その人らしさを大切にされた看護ケアに努めています。また、薬物療法の安全な投与管理や、副作用の発生を予測し早期に発見・対応する副作用マネジメント、患者さんのセルフケア指導なども行っています。

Q. 今後の目標を教えてください。
高度な医療を提供する大学病院では、私たちも常に学び続けていくことができます。その学ぶ姿勢を忘れないこと、私を含めたスタッフ皆が投与管理や副作用マネジメント、セルフケア指導を充実させて、患者さんがより安全に、安心して治療を受けられる環境をつくっていきたく思います。



第二回 山大学研究者表彰式

日頃の研究活動において顕著な業績を挙げ、本学の研究力向上に多大な貢献をした教員を称えるため、令和7年度より創設された「山大学研究者表彰式」。第一回目には、世界的に極めて高い影響力を持つ研究者を称える「卓越研究賞」に9名、将来の飛躍が期待される若手研究者を対象とした「若手奨励賞」に5名が選出されました。このうち、大学院医学系研究科および医学部附属病院から6名の教員が選出され、3月23日、谷澤幸生学長より表彰されました。



谷澤学長らと受賞者一同

大学院医学系研究科・附属病院 受賞者(五十音順) ※令和8年3月所属

【卓越研究賞】

坂井 孝司 教授(大学院医学系研究科)
佐野 元昭 教授(大学院医学系研究科/細胞デザイン医科学研究所)
白石 晃司 教授(大学院医学系研究科/細胞デザイン医科学研究所)
杉野 法広 教授(大学院医学系研究科/細胞デザイン医科学研究所)
陳 沖 助教(医学部附属病院)

【若手奨励賞】

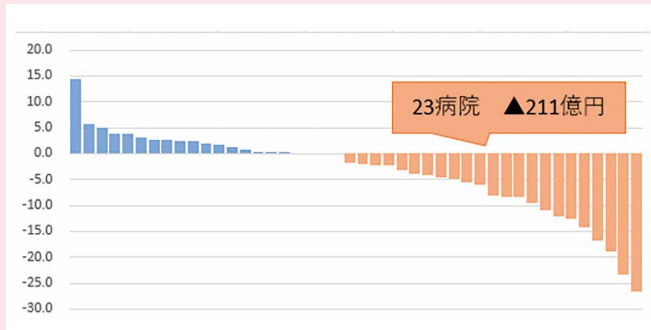
竹内 由利子 助教(医学部附属病院)
陳 沖 助教(医学部附属病院)

山大学病院募金 ご寄附のお願い

地域医療の未来のために あなたの支えが必要です

近年、国立大学病院は、医療の高度化に伴う高額医薬品等の使用による医療費の増加や、物価・エネルギー価格の高騰等の影響により、厳しい財政状況下での経営を余儀なくされています。先進的な高度医療や、より安全な医療提供のために、皆様からのご寄附をお願い申し上げます。

詳しくはこちら→



国立大学病院長会議調べ



堀尾佳子 管理栄養士 栄養関係功労者 厚生労働大臣表彰



このたび、本院の栄養治療部に所属する堀尾佳子管理栄養士が、令和7年度栄養関係功労者厚生労働大臣表彰を受賞しました。これは、長きにわたり栄養改善に尽力し、その功績が特に顕著であると認められる者に贈られる賞です。

堀尾さんは、常に第一線で患者さんに寄り添った栄養指導業務に携わり、本院および地域の栄養管理・栄養改善に大きく貢献した実績が高く評価され、栄養指導業務功労者として表彰されました。堀尾さんは「身に余る思いです。引き続き精進いたします」と話しました。

材料(4人分)

ごはん720g
牛ひき肉200g
にんにく1片
塩こしょう少々
人参(粗みじん切り)120g
玉ねぎ(粗みじん切り)200g
セロリ(粗みじん切り)120g
水500~600cc
カレールー80g
※溶けやすいパウダー状がおすすめ

●飾り付け用

かぼちゃ(スライス)120g
ナス(縦切りまたは乱切り)120g
ピーマン(1個を縦1/4切)2個
※それぞれフライパンまたはレンジグリルで加熱する
ゆでたまご4個(半分にカット)
貝割れ大根20g

栄養成分 (1人分)

エネルギー 637kcal
たんぱく質 22.5g
脂質 23.3g
炭水化物 93.3g
食塩相当量 2.5g



Today's menu

煮込み短縮 時短カレー



Curry

夏野菜で
ビタミンチャージを

作り方

- 鍋に牛肉ミンチを入れ炒める。(油はひかなくても良い)
- ①に粗みじんの野菜(人参・玉ねぎ・セロリの順に)を入れて炒める。
- ②に水を入れる。※少し残して濃度を調整すると良い
- 10~15分程度加熱し、カレールーを入れる。味を見て調整する。
- 加熱している際に、飾り付け用のゆで卵を作成し、焼き野菜を準備しておく。
- ごはんを盛り付け、焼き野菜をのせ、カレーを注ぐ。最後に半分にカットした卵をのせ、貝割れ大根をトッピングする。

監修：堀尾佳子(管理栄養士)

「ゆめほ。」ネーミングの由来
言葉としての言いやすさ、親しみやすさを考慮するとともに下記の意味が込められています。
ゆめ：YUME(Yamaguchi University Faculty of Medicine and Health Sciences
= 山大学部(の略)) + 「皆の願い(夢)を叶える」
ほ：ホスピタルの「ほ」+ 山科の語尾の「ほ」+ 一歩ずつ前進する「歩」

山大学部
& 山大病院
情報発信中



Facebook



Instagram



LINE

企画・発行

山大学医学部 広報委員会
山大学医学部 総務課 広報・国際係
山大学医学部附属病院 広報戦略センター
〒755-8505 山口県宇部市南小串一丁目1番1号 TEL 0836-22-2111